

令和7年度 高等部3年 II 課程 (産業コース) 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	
3／105		高等部3年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：(知及技)知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。（高2段階） (思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。（高2段階） (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技)社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。（高2段階A（ア）） (思判表力)社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。（高2段階A（ア）） (学・人)相手のことを考えて会話を進めたり、メモを使い、お互いの言いたいことを伝え合うことができる。（高2段階）	(知・技)人々との信頼関係を作っていくためには言葉のやりとりと、その場に合った態度が大切だと気付いている。 (思・判・表)会話の中で、話し手の目的や自分の言いたいことを捉えようとしている。 (主学)相手のことを考えて会話を進めたり、メモを使い、お互いの言いたいことを伝え合おうとしている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント	『会話する力を高めよう』 ～信頼関係を作ろう～	・会話で気をつけることを知り、練習する。 ・うなずきや相づちを入れてしっかり聞く。 ・繰り返し確認し、メモを取る。 ・謝罪や断りの事例を参考に練習する。 ・困ったときの対処を考える。 ・コミュニケーションツールを知る。
		(知及技)文章を音読したり、朗読したりすることができる。（高2段階A（キ）） (思判表力)話の内容が明確になるように、話の構成を考えることができる。（高2段階A（ウ）） (学・人)詩の構成や表現の効果について考えながら情景を想像して音読できる。（高2段階）	(知・技)文章を音読したり、朗読しようとしている。 (思・判・表)話の内容が明確になるように、話の構成を考えようとしている。 (主学)詩の構成や表現の効果について考えながら情景を想像して音読している。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、確認テスト、朗読の発表	『詩を読もう』 ～工夫して朗読しよう～ 『雨ニモマケズ』	・漢字や語句の意味調べをする。 ・繰り返し音読し、描かれている情景を想像する。 ・詩の形式や表現技法を確認する。 ・詩のリズムを生かして、工夫して朗読する。 ・詩について考えたことや感想を交流する。
		(知及技)日常でよく使われる敬語を理解し使うことができる。（高2段階（ア）（カ）） (思判表力)相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。（高2段階A（エ）） (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、正しい敬語を用いて伝え合うことができる。（高2段階）	(知・技)日常でよく使われる敬語を理解し使うことができる。 (思・判・表)正しい敬語を用いて、相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫して話そうとしている。 (主学)言葉がもつよさを認識するとともに、正しい敬語を用いて伝え合おうとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、確認テスト	『敬語を使おう』 ・敬語を使おう ・電話を利用しよう	・尊敬語、丁寧語について学習し、状況に応じた敬語の言い方に慣れる。 ・実習の場面を想定し、電話のかけ方について学習する。
		(知及技)用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。（高2段階（ウ）（ウ）㊦） (思判表力)目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。（高2段階B（ウ）） (学・人)目的や意図に応じて、自分の考えや必要事項を書き表すことができる。（高2段階）	(知・技)用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くようとしている。 (思・判・表)目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫しようとしている。 (主学)目的や意図に応じて、自分の考えや必要事項を書くようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、履歴書	『履歴書を書こう』 ～重要文書の取り扱い方～	・履歴書を書くときの注意事項を知る。 ・住所や学歴、趣味、特技など事実を正確に書く。 ・志望動機は、自己アピールを入れて志望の理由を書く。 ・文字の大きさや位置、行間など効果的な配列を意識して清書する。 ・住民票や届け出などの書き方を知る。

2 学 期	42	(知及技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くことができる。(我が国の言語文化 高2段階ウ(工)) (思判表力) 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができる。(高2段階C オ) (学・人) 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを伝えることができる。(高2段階)	(知・技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くこととしている。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめようとしている。 (主学) 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、確認テスト、漢字テスト	「文学的な文章を読む」 ～主人公の心情を考える～ 『少年の日の思い出』『トロツコ』『走れメロス』など	・漢字や語句の意味調べをする。 ・段落の確認をする。 ・段落に分けて音読する。 ・地の文や会話文から情景や主人公の心情を考える。 ・主題に注目させ、自分の考えをまとめる。
		(知及技) 生活に身近な方言や地域のことわざ(黄金言葉)の意味について知り、郷土の言語文化に親しむことができる。(高2段階:ウ(ア)) (思判表力) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(高2段階A 工) (学・人) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとする。(高2段階)	(知・技) 生活に身近な方言や黄金言葉を知り、意味などをプリントにまとめることができる。 (思・判・表) 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫しようとしている。 (主学) 生活の中で身近に使われている言葉を知り、使うことにより様々な表現に親しもうとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート	「方言に親しもう」 ・方言カルタのをしよう ・黄金言葉を調べよう ・しまくとうばを話そう	・方言カルタを通して、身近な方言について知る。 ・黄金言葉の意味について調べ、理解する。 ・しまくとうばを使って、自己紹介や体の名称等を表現し方言に親しむ。
		(知及技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。(高2段階:イ(イ)) (思判表力) 目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けすることができる。(高2段階C 工) (学・人) 将来の生活を意識して、必要な情報を読み取ることができる。(高2段階)	(知・技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うこととしている。 (思・判・表) 目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けようとしている。 (主学) 将来の生活を意識して、必要な情報を読み取ろうとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート	「生活に必要な情報を読み取る」 ～領収書や説明書の見方～	・実際の納品書、請求書、領収書を見て、書類の役割を知る。 ・病院受診に必要な書類の書き方を知る。(受付、問診票、薬の説明書) ・漢字や言葉の意味を調べる。 ・分かったことをまとめる。
		(知及技) 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くことができる。(高2段階 ウ(ウ)④) (思判表力) 文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。(高2段階B オ) (学・人) 手紙の決まりを守り、わかりやすく感謝の気持ちを伝えることができる。(高2段階)	(知・技) 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこととしている。 (思・判・表) 文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けようとしている。 (主学) 手紙の決まりを守り、わかりやすく感謝の気持ちを伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子、下書き原稿、清書手紙	「手紙を書こう」 ～実習先へお礼状を書く～	・手紙の書き方や注意事項を知る。 ・時候の挨拶を書く。 ・お世話になった方へ出来事を思いだし具体的に書く。 ・相手を気づかう言葉や結びの言葉、日付など必要な項目を書く。 ・用紙や筆を選び、余白や文字の位置などを考えて見栄え良く清書する。
3 学 期	27	(知及技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。(高2段階 ウ(ウ)⑦) (思判表力) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(高2段階B ウ) (学・人) 目的や意図に応じて、自分の考えや必要事項を書き表すことができる。(高2段階)	(知・技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くこととしている。 (思・判・表) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫しようとしている。 (主学) 目的や意図に応じて、自分の考えや必要事項を書くこととしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、履歴書	「履歴書を書こう」② ～重要文書の取り扱い方～	・履歴書を書くときの注意事項を知る。 ・住所や学歴、趣味、特技など事実を正確に書く。 ・志望動機は、自己アピールを入れて志望の理由を書く。 ・文字の大きさや位置、行間など効果的な配列を意識して清書する。 ・住民票や届け出などの書き方を知る。
		(知及技) 文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解することができる。(高2段階 ア(オ)) (思判表力) 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(高2段階C イ) (学・人) 随筆を読み、筆者の体験と感じたことを理解することができる。(高2段階)	(知・技) 文と文との接続の関係、話や文章の構成について理解しようとしている。 (思・判・表) 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握しようとしている。 (主学) 随筆を読み、筆者の体験と感じたことを理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子、ワークシート、確認テスト	「随筆文に親しむ」 ～筆者の物の見方や感じ方を味わう～ 『枕草子』『徒然草』	・筆者について理解する。 ・語句の意味調べをする。 ・段落を分ける。 ・筆者の体験したことと感じたことを分けて整理する。 ・筆者と自分を重ねず、筆者の物の考え方や特徴に注目する。 ・言葉の響きやリズムを味わい暗唱する。 ・「春は」の冒頭から始めて、季節感を表す文章を作る。
		(知及技) 考えとそれらを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。(高2段階:イ(ア)) (思判表力) 段落相互の關係に着目しながら、考えとそれらを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えることができる。(高2段階C イ) (学・人) 言葉の良さを認識し、幅広く新聞に親しむことができる。(高2段階)	(知・技) 考えとそれらを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表) 段落相互の關係に着目しながら、考えとそれらを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えようとしている。 (主学) 言葉の良さを認識し、幅広く新聞に親しもうとしている。	「新聞を読もう」 ・新聞記事を読もう ・NIEの活用	・新聞を読んで主題となる内容を見付ける。 ・新聞を読んで感想をもち、伝え合うことで、一人一人感じ方に違いがあることに気づく。
総時数	105				

令和7年度 高等部3年 II課程（産業コース）社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	
1/35		高等部3年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：（知及技）知識及び技能 評価：（知・技）知識・技能		（思判表力）思考力、判断力、表現力等 （思・判・表）思考・判断・表現		（学・人）学びに向かう力・人間性等 （主学）主体的に学習に取り組む態度	
年間目標		（知及技）ア我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、工業の現状、産業と情報との関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。（高2段階） （思判表力）イ社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。（高2段階） （学・人）ウ社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	（知及技）社会の中で互いに協力しながら、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。（高2段階ア(ア)㉔） （思判表力）社会生活の中で状況を的確に判断し、国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。（高2段階ア(ア)㉔） （学・人）国民としての権利及び義務、それに伴う責任について学んだことを、生活に活かそうとすることができる。（高2段階ウ）	（知・技）社会の中で互いに協力しながら、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができた。 （思・判・表）社会生活の中で状況を的確に判断し、国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができた。 （主学）国民としての権利及び義務、それに伴う責任について学んだことを、生活に活かそうとすることができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、ワークシート記入の進捗で評価する。	くらしを支える社会のきまりとしくみ ・国のきまりとしくみ ・地域きまりとしくみ （4、5月）	・憲法の原則、三権分立 ・国や地方公共団体のきまりとしくみ、選挙について学ぶ。 ・地域の行政機関の役割を調べ、相談内容や用途に応じた窓口を知る。
		（知及技）社会生活を営む上で大切な法やきまりに関わる学習活動を通して、社会の慣習、生活に関係の深いきまりを身に付けることができる。（高2段階ア(イ)㉔） （思判表力）社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現することができる。（高2段階ア(イ)㉔） （学・人）学んだ知識を自分との関わりについて理解を深め、興味関心をもって学習活動に取り組むことができる。（高2段階ウ）	（知・技）社会生活を営む上で大切な法やきまりに関わる学習活動を通して、社会の慣習、生活に関係の深いきまりを身に付けることができた。 （思・判・表）社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現することができた。 （主学）学んだ知識を自分との関わりについて理解を深め、興味関心をもって学習活動に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、ワークシート記入の進捗で評価する。	くらしを支える社会のしくみ ・社会へのかかわり方 （6、7月）	・地域の首長と議員について学ぶ。 ・行政と選挙のしくみを知り、選挙公報の単語の意味を確認しながら公約を理解し、候補者を選ぶポイントを知る。 ・模擬選挙を通して社会参加を疑似体験する。
2 学期	14	（知及技）公共施設の役割に関わる学習活動を通して、地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができる。（高2段階イ(ア)㉔） （思判表力）地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現すること。（高2段階イ(ア)㉔） （学・人）制度に関わる学習活動を通して、生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができる。（高2段階ウ）	（知・技）公共施設の役割に関わる学習活動を通して、地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができた。 （思・判・表）地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現することができた。 （主学）制度に関わる学習活動を通して、生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、ワークシート記入の進捗で評価する。	くらしを支える社会のしくみ ・身近な公共機関の役割としくみ ・税と社会保障 （9、10月）	・金融機関や郵便局、警察署や消防署、役場などの公共施設の役割やその活用方法について調べる。 ・自分に関係する卒業後の相談機関、支援機関について調べる。 ・実際に利用する身近な公共施設と支援機関の一覧表を作成する。
		（知及技）社会生活を営む上で大切な法やきまりに関わる学習活動を通して、社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解することができる。（高2段階ア(イ)㉔） （思判表力）社会生活を営む上で大切な法やきまりに関わる学習活動を通して、社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現することができる。（高2段階ア(イ)㉔） （学・人）制度に関わる学習活動を通して、学んだ知識を生活に関連させ、活用しようとする事ができる。（高2段階ウ）	（知・技）社会生活を営む上で大切な法やきまりに関わる学習活動を通して、社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解することができた。 （思・判・表）社会生活を営む上で大切な法やきまりに関わる学習活動を通して、社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現することができた。 （主学）制度に関わる学習活動を通して、学んだ知識を生活に関連させ、活用しようとする事ができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、ワークシート記入の進捗で評価する。	働く人を守るきまりとしくみ ・はたらく人を守る法律 ・はたらく人を守る制度 ・労働環境の現状と課題 （11、12月）	・労働者を守る法律やしくみ、関係機関の役割について確認する。 ・労働問題の事例を動画で視聴し、関連する法律をインターネットで調べワークシートにまとめる。 ・全国の最低賃金図表から都道府県の賃金の違いや特徴を考察する。 ・ディーセントワークを基本として、問題の対処方法を考察する。

3 学 期	9	(知及技) 社会の中で互いに協力しながら社会生活に必要な知識や技能を身につけるとともに、社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解することができる。(高2段階ア(ア)(イ)㊟) (思判表力) 社会生活の中で状況を的確に判断し、国民として権利及び義務それに伴う責任について考えるとともに社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現することができる。(高2段階イ(ア)㊟(イ)㊟) (学・人) 学習活動で学んだ知識を、主体的に自分の生活に活かそうとすることができる。(高2段階ウ)	(知・技) 社会の中で互いに協力しながら社会生活に必要な知識や技能を身につけるとともに、社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解することができた。 (思・判・表) 社会生活の中で状況を的確に判断し、国民として権利及び義務それに伴う責任について考えるとともに社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現することができた。 (主学) 学習活動で学んだ知識を、主体的に自分の生活に活かそうとすることができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、ワークシート記入の進捗で評価する。	くらしを支える社会のしくみ ・税金と公共サービス (1、2月)	・身近なインフラや生活の中の公共施設とサービスを調べる。 ・税金と私たちの生活について学習し、必要性や現状と課題について考察する。
		(知及技) 地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解するとともに、生活に関係の深い制度について理解することができる。(高2段階イ(ア)㊟(イ)㊟) (思判表力) 地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考えるとともに生活に関係の深い制度についても調べ、その活用を考え、表現することができる。(高2段階イ(ア)㊟(イ)㊟) (学・人) 学習活動で学んだ知識を、主体的に自分の生活に活かそうとすることができる。(高2段階ウ)	(知・技) 地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解するとともに、生活に関係の深い制度について理解することができた。 (思・判・表) 地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考えるとともに生活に関係の深い制度についても調べ、その活用を考え、表現することができた。 (主学) 学習活動で学んだ知識を、主体的に自分の生活に活かそうとすることができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、ワークシート記入の進捗で評価する。	いろいろな消費者問題 (2、3月)	・消費者トラブルの事例を知る。 ・まきこまれやすい犯罪を知る。 ・ロールプレイを通して消費者問題を考える。 ・消費者相談支援機関を知る。
総時数	35				

令和7年度 高等部3年 II課程（産業コース） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	
3/105		高等部 3 年 II 課程（産業コース）			
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）整数の性質、分数の意味、文字を用いた式及び、平面図形の縮小や拡大の意味、立体図形の体積、比例や反比例の関係、伴って変わる二つの数量の関係、データの特徴の読み取り方法について理解するとともに、それらの問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。（高2段階） （思判表力）数とその表現や計算の意味、図形を構成する要素や図形間の関係、伴って変わる二つの数量の関係、目的に応じて収集したデータの特徴や傾向に着目して、それらを簡潔かつ的確な表現に高めたり、それらを用いた問題解決の仕方を考察したり、解決の過程や結果を批判的に捉え考察したりする力を養う。（高2段階） （学・人）数量や図形、データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	（知及技）数量を表す言葉や□、△などの代わりにa、xなどの文字を用いて式に表したり、文字に当てはめたり調べたりする技能を身に付けることができる。（高2段階Aオ（ア）㊦） （思判表力）問題場面の数量の關係に着目し、数量の關係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりする態度を養うことができる。（高2段階Aオ（ア）㊦） （学・人）数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。（高2段階Aウ）	（知・技）数量を表す言葉や□、△などの代わりにa、xなどの文字を用いて式に表したり、文字に当てはめたり調べたりする技能を身に付けることができた。 （思・判・表）問題場面の数量の關係に着目し、数量の關係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができた。 （主学）数量について数学的に表現・処理したことを振り返えろうとしたり、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用することができた。 【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。	数と計算「余暇の過ごし方について」 （4月～5月）	・数量の大きさを、文字xを用いた式で一般的に表すこと ・数量の關係を、文字x、yを用いた式で一般的に表すこと 発展 文字を使った求積公式を見た数量の關係の考察 ・DVDレンタル時の料金表やカラオケ・ボウリング等の娯楽施設の料金表の読み取り、合計利用料を考える。 ・家計簿のつけ方や計算方法を知って、1ヶ月の模擬支出を考える。 ・銀行の預金や引き出し方法、通帳の見方などを学ぶ。 （乗法の結合法則、分配法則、四則混合の式、□、△などを用いた式）
		（知及技）体積の単位（立方センチメートル（cm ³ ）、立方メートル（m ³ ））、立方体や直方体、基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解し、それらを活用する技能を身に付けることができる。（高2段階Bエ（イ）㊦㊧㊨） （思判表力）体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との關係を考察し、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導く力を養うことができる。（高2段階Bエ（イ）㊦㊧㊨） （学・人）図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。（高2段階Bウ）	（知・技）体積の単位（立方センチメートル（cm ³ ）、立方メートル（m ³ ））、立方体や直方体、基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解し、それらを活用する技能を身に付けることができた。 （思・判・表）体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との關係を考察し、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができた。 （主学）図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用することができた。 【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。	図形「体積について」 （6月）	・体積について知る ・立方体、直方体、角柱、円柱の体積の求め方について知る。 （体積の単位、直方体の体積、立方体の体積、角柱の体積、円柱の体積） ・体積の意味 ・体積の単位「立方センチメートル、立方メートル」と単位の相互關係 ・直方体、立方体の体積公式とその適用 ・複合図形の体積の求め方 ・体積の単位と既習の単位との關係 ・角柱、円柱の体積公式
		（知及技）比例の意味や性質、比例の關係を用いた問題解決の方法や反比例について理解し、それらを活用する技能を身に付けることができる。（高2段階Cア（ア）㊦㊧㊨） （思判表力）伴って変わる二つの数量を見だして、それらの關係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの關係を表現して、変化や対応の特徴を見いだすとともに、それらを日常生活に生かす態度を養うことができる。（高2段階Cア（イ）㊦） （学・人）数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。（高2段階Cウ）	（知・技）比例の意味や性質、比例の關係を用いた問題解決の方法について理解し、それらを活用する技能を身に付けることができた。 （思・判・表）伴って変わる二つの数量を見だして、それらの關係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの關係を表現して、変化や対応の特徴を見いだすとともに、それらを日常生活に生かすことができた。 （主学）数量について数学的に表現・処理したことを振り返りろうとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができた。 【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。	変化と關係「生活のなかの時間や時刻について」 （7月）	・比の意味と表し方 ・比の値の意味と表し方 ・等しい比の意味と調べ方 ・比の相等關係とその活用、比例配分 ・時間や時刻を意識して、校外への余暇活動の計画を立てる。 ・校外実習で働いた時間を求める。実際に働く時間や期間について考える。 （時間の単位、時刻・時間の計算、伴って変わる二つの数量の關係、単位量あたりの大きさ、速さ） ・比例の關係を、文字x・yを使って式に表すこと ・表を使った比例關係の考察 ・比例のグラフの理解 ・比例關係に着目した問題 ・反比例の意味、性質 ・反比例の式、表、グラフ

2 学期	42	(知・技) 整数の除法の結果は分数を用いると常に一つの数で表すことができること、一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことについて理解するとともに、それらを活用して異分母の分数の加減や乗除の計算ができる技能を身に付けることができる。(高2段階Aイ(ア)㉔㉕、Aウ(ア)㉔、Aエ(ア)㉔) (思判表力) 数を構成する単位や分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、数の相当や大小関係、計算の仕方を多面的に捉え考える力を養うことができる。(高2段階Aイ(イ)㉔㉕、Aウ(イ)㉔、Aエ(イ)㉔) (学・人) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高2段階Aウ)	(知・技) 整数の除法の結果は分数を用いると常に一つの数で表すことができること、一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことについて理解するとともに、それらを活用して異分母の分数の加減や乗除の計算ができる技能を身に付けることができた。 (思・判・表) 数を構成する単位や分数の意味や表現、計算について成り立つ性質に着目し、数の相当や大小関係、計算の仕方を多面的に捉え考えることができた。 (主学) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用することができた。 【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。	数と計算「生産・販売に関わるお金について」(9月～10月)	・通分の意味とその方法 ・約分の意味とその方法 ・異分母分数の加法、減法の計算 ・分数と小数の混じった加減計算 ・時間の分数表示 ・レシートの見方を学ぶ。 ・商品の原価と価格について知り、利益の計算や原価率について考える。 ・決められた個数の製品を作るためのコストや納期までの計画について考える。 ・(整数の乗法、整数の除法の意味、小数倍、簡単な分数の加法・減法、同分母分数の加減、分数と小数、整数の関係) ・分数に整数をかけることの意味と計算の仕方 ・分数を整数でわることの意味と計算の仕方 ・分数をかけることの意味と計算の仕方 ・真分数をかけるときの積と被乗数の関係 ・分数についても公式や計算法則が成り立つこと ・逆数の意味 ・分数でわることの意味と計算の仕方 ・真分数でわるときの商と被除数の関係 ・3口の分数の乗除混合計算の仕方 ・分数、小数、整数の混じった乗除計算の仕方 ・分数の乗除計算の立式についての理解の深化(作問)
		(知・技) 縮図や拡大図、対象な図形や身の回りにある形について、その概形を理解し、それらの面積を求めたり、その求め方を活用する技能を身に付けることができる。(高2段階Bア(ア)㉔㉕、イ(ア)㉔) (思判表力) 図形を構成する要素や性質に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたり、筋道を立てて面積などの求め方を考えたりするとともに、その性質を基に既習の図形に捉え直したり、日常生活に生かそうとする態度を養うことができる。(高2段階Bア(イ)㉔、Bイ(イ)㉔) (学・人) 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高2段階Bウ)	(知・技) 縮図や拡大図、対象な図形や身の回りにある形について、その概形を理解し、それらの面積を求めたり、その求め方を活用する技能を身に付けることができた。 (思・判・表) 図形を構成する要素や性質に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたり、筋道を立てて面積などの求め方を考えたりするとともに、その性質を基に既習の図形に捉え直したり、日常生活に生かすことができた。 (主学) 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようしたり、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用することができた。 【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。	図形「間取りについて」 「目的地までの距離について」 (11月～12月)	・拡大図、縮図の意味と性質(対応する辺の長さや角の大きさ) ・拡大図、縮図のかき方 ・縮図の利用 ・長さや重さ、広さの単位を知って、身近なものの量を表す。 ・様々な計器や計算を行い、実際の長さや重さ、広さを求める。 ・自分の家の間取りを知る。 ・実物と模型で拡大・縮小について考える。 ・(長さの単位、重さの単位、適切な単位と計器の選択、正三角形、二等辺三角形、平行四辺形、台形、ひし形、面積の単位、長方形、正方形の面積) ・概形を基本図形でとらえた面積、体積の概測
3 学期	27	(知・技) 整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されること、約数や倍数を理解しそれらを活用する技能を身に付けることができる。(高2段階Aア(ア)㉔) (思判表力) 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かす力を養うことができる。(高2段階Aア(ア)㉔) (学・人) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高2段階Aウ)	(知・技) 整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されること、約数や倍数を理解しそれらを活用する技能を身に付けることができた。 (思・判・表) 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすことができた。 (主学) 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用することができた。 【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。	数と計算「消費税や割引について」 (1月～2月)	・偶数、奇数の意味とその類別 ・倍数、公倍数、最小公倍数の意味とその見つけ方 ※「プログラミングを体験しよう」への誘導あり ・約数、公約数、最大公約数の意味とその見つけ方 ・消費税や割引について知る。 ・合計金額から消費税がいくらか考える。 ・クーポン券を活用すると大体いくらになるか考える。 ・予算内で商品購入の計画を立てる。 (1億までの数、概数、概算、小数の加法・減法、小数の乗法)
		(知・技) 代表値の意味や求め方、度数分布表や柱状グラフの特徴及び用い方を理解し、目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解し、それらを活用する技能を身に付けることができる。(高2段階Dア(ア)㉔㉕) (思判表力) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察する力を養うことができる。(高1段階Dア(イ)㉔) (学・人) データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高2段階Dウ)	(知・技) 代表値の意味や求め方、度数分布表や柱状グラフの特徴及び用い方を理解し、目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解し、それらを活用する技能を身に付けることができた。 (思・判・表) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察することができた。 (主学) データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようしたり、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用することができた。 【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。	データの活用「いろいろな手続きについて」 (2月～3月)	・代表値としての平均 ・資料を度数分布表に整理すること ・最頻値 ・柱状グラフを読んだりいかたりすること ・中央値 ・統計的な問題解決の方法 ・いろいろなグラフの特徴、読み方 ・携帯の契約方法についてプラン別に考える。 ・宅配便やゆうパック等の利用方法について知り、利用料を比較する。 ・電気、ガス、水道などの公共設備の料金設定について考える。 (表や棒グラフ、二次元の表、円グラフ、帯グラフ)
総時数	105				

令和7年度 高等部 3年Ⅱ課程（産業コース） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数		児童生徒		担当者	
1/35		高等部3年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：（知・技）知識及び技能（思・判・表）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知・技）自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。（高2段階） （思・判・表）観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を身につけることができる。（高2段階） （学・人）自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	（知・技）人の体のつくりと働きについて理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。（高2段階Aア（ア）） （思・判・表）人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。（高2段階Aア（イ）） （学・人）人の体のつくりと働きについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えたり、行動することができる。（高2段階ウ）	（知・技）人の体のつくりと働きについて理解しようとしているとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができた。 （思・判・表）人の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができた。 （主学）人の体のつくりと働きについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えたり、行動しようとすることができた。 【評価資料】活動の様子や課題への取り組みを評価する。	「人の体のつくりと働き」 （4、5月） ・呼吸 ・消化、吸収 ・血液循環 ・主な臓器の働き	・人や動物の体について学ぶ。 （人体模型を用いて、場所と名前を覚える。）
		（知・技）生物は、周囲の生物や環境と関わって生きていることや、人は環境と関わり、工夫して生活していることを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。（高2段階Aイ（ア）） （思・判・表）生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。（高2段階Aイ（イ）） （学・人）生物と環境について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。（高2段階ウ）	（知・技）生物は、周囲の生物や環境と関わって生きていることや、人は環境と関わり、工夫して生活していることを理解しようとしているとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができた。 （思・判・表）生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができた。 （主学）生物と環境について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとすることができた。 【評価資料】活動の様子や課題への取り組みを評価する。	「生物と環境」 （6、7月） ・生物と水、空気との関わり ・食べものによる生物の関係 ・人と環境 ・沖縄の自然環境	・生物のくらしと環境について学ぶ。 （人を中心に他の生物との関わりを確認する。） ・微生物の観察をする。 ・沖縄の自然について調べよう。
2学期	14	（知・技）月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わること理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。（高2段階Bイ（ア）） （思・判・表）月の形の見え方について調べる中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。（高2段階Bイ（イ）） （学・人）月の形の見え方について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。（高2段階ウ）	（知・技）月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わること理解しようとしているとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができた。 （思・判・表）月の形の見え方について調べる中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができた。 （主学）月の形の見え方について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとすることができた。 【評価資料】活動の様子や課題への取り組みを評価する。	「月と太陽」 （9、10月） ・月の位置や形と太陽の位置	・月の形と太陽について学ぶ。 （模型を用いて、月の見え方を確認する）
		（知・技）植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。（高2段階Cア（ア）） （思・判・表）燃焼の仕組みについて調べる中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。（高2段階Cア（イ）） （学・人）燃焼の仕組みについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。（高2段階ウ）	（知・技）植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解しようとしているとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができた。 （思・判・表）燃焼の仕組みについて調べる中で、物が燃えたときの空気の変化について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができた。 （主学）燃焼の仕組みについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとすることができた。 【評価資料】活動の様子や課題への取り組みを評価する。	「燃焼の仕組み」 （11、12月）	・物の燃え方と空気について学ぶ。
3学期	9	（知・技）てこの原理とは、支点・力点・作用点の3つの要素で成り立っていることや身の回りには、てこの原理を利用した道具があることを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。（高2段階Cウ（ア）） （思・判・表）力を加える位置や力の大きさの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。（高2段階Cウ（イ）） （学・人）てこの原理について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。（高2段階ウ）	（知・技）てこの原理とは、支点・力点・作用点の3つの要素で成り立っていることや身の回りには、てこの原理を利用した道具があることを理解しようとしているとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができた。 （思・判・表）力を加える位置や力の大きさの関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができた。 （主学）てこの原理について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとすることができた。 【評価資料】活動の様子や課題への取り組みを評価する。	「てこの原理」 （1～3月） ・てこのつり合いの原理 ・てこの利用	・てこの仕組みと働きについて学ぶ。 （重い砂袋をてこで持ち上げる。てこを利用した道具を使ってみる。）
総時数	35				

令和7年度 高等部3年Ⅱ課程（産業コース） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	
2/70		高等部3年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。（高2段階） （思判表力）音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。（高2段階） （学・人）主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	（知及技）曲想や音楽の構造と身体の動きとの関わりについて理解することができる。（高2段階Aⅰ（イ）④） （思判表力）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫できる。（高2段階Aⅰ（ア）） （学・人）主体的・協働的に身体表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。（高2段階ウ）	（知・技）曲想や音楽の構造と身体の動きとの関わりについて理解できた。 （思・判・表）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現の創意工夫ができた。 （主学）主体的・協働的に身体表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにできた。 【評価資料】活動・実技の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	身体表現「リズムアンサンブルを演奏しよう」（4～5月）	・複数の音符を用いたリズム打ちや音符の理解について学習する。 ・リズムに合わせてカップを使った表現をする。
		（知及技）声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりについて理解できる。（高2段階Aⅱ（イ）④） （思判表力）歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫できる。（高2段階Aⅱ（ア）） （学・人）主体的・協働的に歌唱表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。（高2段階ウ）	（知・技）声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わりについて理解できた。 （思・判・表）歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現の創意工夫ができた。 （主学）主体的・協働的に歌唱表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにできた。 【評価資料】活動・実技の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	歌唱「平和について考えよう」（5～6月）	・歌詞の理解や演奏と歌唱、鑑賞のマナーについて学習する。
		（知及技）創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体 の 使い 方 などの技能を身に付けることができる。（高2段階Aⅲ（ウ）⑦） （思判表力）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫できる。（高2段階Aⅲ（ア）） （学・人）主体的・協働的に器楽表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。（高2段階ウ）	（知・技）創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体 の 使い 方 などの技能を身に付けることができる。 （思・判・表）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現の創意工夫ができた。 （主学）主体的・協働的に歌唱表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにできた。 【評価資料】活動・実技の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	器楽「器楽合奏に挑戦しよう」（5～7月）	・楽器演奏体験をする。（楽器の名称、楽器の特徴） ・奏法について学習する。（個人練習、パート練習、合奏） ・指揮の注視について学ぶ。
		（知及技）音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解できる。（高2段階Bⅲ（イ）④） （思判表力）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができる。（高2段階Bⅲ（ア）） （学・人）主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。（高2段階ウ）	（知・技）音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解できた。 （思・判・表）鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができた。 （主学）主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにできた。 【評価資料】学習・実技の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	鑑賞「特徴を捉えて聴こう」（5～6月）	・クラシックや宗教音楽、民族音楽など色々なジャンルの曲を鑑賞する。
2 学期	28	（知及技）創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体 の 使い 方 などの技能を身に付けることができる。（高2段階Aⅲ（ウ）⑦） （思判表力）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫できる。（高2段階Aⅲ（イ）⑦） （学・人）主体的・協働的に器楽表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。（高2段階ウ）	（知・技）創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体 の 使い 方 などの技能を身に付けることができる。 （思・判・表）器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができた。 （主学）主体的・協働的に歌唱表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにできた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	器楽「器楽合奏を楽しもう」（9～11月）	・楽器演奏体験をする。（楽器の名称、楽器の特徴） ・奏法について学習する。（個人練習、パート練習、合奏） ・指揮の注視について
		（知及技）創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。（高2段階Aⅲ（ウ）） （思判表力）創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。（高2段階Aⅲ（ア）） （学・人）主体的・協働的に創作の学習に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。（高2段階ウ）	（知・技）創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫しようとしている。 （主学）主体的・協働的に創作の学習に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。（高2段階ウ）	創作「曲作りに挑戦しよう」（11月～12月）	・音楽創作アプリ等を使用し、旋律及び伴奏、リズムパートの創作を行う。

3 学 期	18	(知及技) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら、他者と合わせて歌う技能を身に付けることができる。(高2段階Aア(ウ)④) (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫できる。(高2段階Aア(ア)) (学・人) 主体的・協働的に歌唱表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。(高2段階ウ)	(知・技) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができた。 (思・判・表) 歌唱表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫できた。 (主学) 主体的・協働的に歌唱表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにすることができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	歌唱「気持ちを込めて歌おう」 (1～3月)	・発声練習、歌詞の理解、強弱記号の理解と意識をする。
		(知及技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解できる。(高2段階Bア(イ)④) (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができる。(高2段階Bア(ア)) (学・人) 主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。(高2段階ウ)	(知・技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解できた。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができた。 (主学) 主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにすることができた。 【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	鑑賞「曲の特徴について発表してみよう」 (2～3月)	・クラシックや宗教音楽、民族音楽など色々なジャンルの曲を鑑賞する。 ・生徒同士で感じたこと等を話し合う場面を設定し、曲の特徴についてグループ毎に説明する。
総時数	70				

令和7年度 高等部3年Ⅱ課程（産業コース） 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数		児童生徒		担当者	
2／70		高等部 3 年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：（知及技）知識及び技能（思・判・表）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができるようにする。（高2段階） （思・判・表）造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。（高2段階） （学・人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。（高2段階）			
学期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	（知及技）形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。（高2段階 共(A)） （思・判・表）対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構成を練ることができる。（高2段階 A(A)） （学・人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。（高2段階）	（知・技）形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。 （思・判・表）対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構成を練ることができる。 （主学）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	○「自己紹介ネームカード」 （4月～5月）	・自己紹介カード制作する。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。
		（知及技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。（高2段階 A(I)） （思・判・表）生活や社会の中でのよさや美しさを感じ取り、美術についての見方や感じ方を深めることができる。（高2段階 B(I)） （学・人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。（高2段階）	（知・技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。 （思・判・表）生活や社会の中でのよさや美しさを感じ取り、美術についての見方や感じ方を深めることができる。 （主学）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	○「夏野菜でエコバックデザイン」 （6月）	・エコバックの制作をする。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。
		（知及技）形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。（高2段階 共(A)） （思・判・表）造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解し、見方や感じ方を深めることができる。（高2段階 共(I)） （学・人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。（高2段階）	（知・技）形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。 （思・判・表）造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解し、見方や感じ方を深めることができる。 （主学）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	○「オリジナルシーサー」 （7月）	・シーサーの色付けをする。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。
2 学期	28	（知及技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。（高2段階 A(I)） （思・判・表）美術作品などの造形的なよさや美しさを感じとり、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。（高2段階 B(A)） （学・人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。（高2段階）	（知・技）材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。 （思・判・表）美術作品などの造形的なよさや美しさを感じとり、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。 （主学）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	○「ステレン版画でメッセージカードづくり」 （9月～10月）	・何回も刷ることのできる版のよさを知ることができる。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。
		（知及技）形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。（高2段階 共(A)） （思・判・表）生活や社会の中でのよさや美しさを感じ取り、美術についての見方や感じ方を深めることができる。（高2段階 B(I)） （学・人）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。（高2段階）	（知・技）形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。 （思・判・表）生活や社会の中でのよさや美しさを感じ取り、美術についての見方や感じ方を深めることができる。 （主学）主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	○「クリスマスカード」「クリスマスリース」 （11月～12月）	・クリスマスカード・リースについて学ぶ。 ・カード・リースの制作をする。 ・制作したカード・リースの鑑賞をする。

3 学 期	18	(知及技) 対象や事象を見つめ感じ取ったことを表現できるように鑑賞方法を身に付ける。(高2段階) (思判表力) 美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。(高2段階B(イ)) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。(高2段階)	(知・技) 対象や事象を見つめ感じ取ったことを表現できるように鑑賞方法を身に付けることができた。 (思・判・表) 美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を深めることができた。 (主学) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができた。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	○「鑑賞」 (1月)	・各名画について学ぶ。 ゴッホ ルノアール モネ ダヴィンチ シャガール
		(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。(高2段階A(イ)) (思判表力) 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構成を練ることができる。(高2段階A(ア)) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。(高2段階)	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができた。 (思・判・表) 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構成を練ることができた。 (主学) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができた。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	○「紙粘土くだもの」 (2月～3月)	・紙粘土を使ってくだものを制作する。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。
総時 数	70				

令和7年度 高等部3年Ⅱ課程（産業コース）保健体育科(体育) 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	
2/70		高等部3年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：(知及技)知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。(高2段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。(高2段階) (学・人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。(高2段階Aア) (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階Aイ) (学・人)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階Aウ)	(知・技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。 (思・判・表)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができた。 (主学)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「体づくり運動」 (4月～3月) ・集団行動 ・ラジオ体操 ・新体力テスト ・特体連ダンス	・いろいろな手軽な運動やリズムカルな運動を行う。 ・特体連ダンスやラジオ体操や地域で親しまれている曲に合わせてダンスを行う。 ・体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めることをねらいとして行われる運動を行う。
		(知及技)水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身に付けることができる。(高2段階Dア) (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階Dイ) (学・人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階Dウ)	(知・技)水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身に付けることができる。 (思・判・表)水泳についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができた。 (主学)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「水泳」 (6, 7月) ・クロール ・平泳ぎ ・スタート ・ターン	・手や足の動きと呼吸のタイミングを合わせられるようゆっくりとした動きで行う。 ・生徒の体力や技能に応じてスタート、ターンの練習を行う。
		(知及技)器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技することができる。(高2段階Bア) (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階Bイ) (学・人)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階Bウ)	(知・技)器械運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技を身に付け、演技することができる。 (思・判・表)器械運動についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができた。 (主学)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「器械運動」 (9月) ・マット運動 ・跳び箱運動 ・トランポリン	・一連の動きを滑らかに、バランスよく姿勢を保ちながら行い、基本的な技を身に付ける。

2 学 期	28	(知及技)武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。(高2段階Fア) (思判表力)武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階Fイ) (学・人)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階Fウ)	(知・技)武道の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができた。 (思・判・表)武道についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができた。 (主学)武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「武道」 (10月) ・空手	・基本動作を中心に取り組み、普及型Ⅰ、Ⅱに挑戦する。
		(知及技)陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。(高2段階Cア) (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階Cイ) (学・人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階Cウ)	(知・技)陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができた。 (思・判・表)陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができた。 (主学)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「陸上競技」 (11、12、1月) ・短距離走 ・長距離走 ・リレー	・短距離走・リレーでは、自己の最大スピードを高めたり、バトンの受渡りでタイミングを合わせたりして、個人やチームのタイムを短縮したり、競走する。 ・長距離走では、自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走る。
3 学 期	18	(知及技)ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流や発表をすることができる。(高2段階Gア) (思判表力)ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階Gイ) (学・人)ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階Gウ)	(知・技)ダンスの楽しさや喜びを深く味わい、その行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現や踊りを通じた交流や発表をすることができた。 (思・判・表)ダンスについての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができた。 (主学)ダンスの多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「ダンス」 (1月) ・創作ダンス ・現代的なリズムのダンス	・リズムに乗って全身で自由に弾んで踊ること。 ・簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、体幹部を中心としたシンブルに弾む動きをしたりして自由に踊ること。 ・リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせて、動きに変化を付けて踊ること
		(知及技)球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階Eア) (思判表力)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階Eイ) (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階Eウ)	(知・技)球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができた。 (思・判・表)球技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができた。 (主学)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「球技」 (2、3月) ・バスケットボール ・バレーボール ・卓球 ・バドミントン ・ボッチャ ・フライングディスク	・簡易化したルールで行う。 ・将来の余暇活動にも結びつく種目を積極的に取り入れる。 ・生徒の実態に応じて、各種目のきまりやルールのについての学習を行う。
		(知及技)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けることができる。(高2段階Hア) (思判表力)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階Hイ) (学・人)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組むことができる。(高2段階Hウ)	(知・技)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けることができた。 (思・判・表)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができた。 (主学)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「体育理論」 (4月～3月) ・運動やスポーツの多様性 ・効果と学び方 ・安全な行い方 ・文化としてのスポーツの意義	・運動やスポーツに関する歴史や捉え方、関わり方、文化や社会性、安全の確保等について理解する。
総時数	70				

令和7年度 高等部3年(Ⅱ課程 産業コース)保健体育科(保健) 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数		児童生徒		担当者	
1/35		高等部3年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。（高2段階） （思判表力）各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高2段階） （学・人）各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	（知及技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。（高2段階1ア） （思判表力）健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階1イ） （学・人）健康・安全についての学習に自主的に取り組むことができる。（高2段階ウ）	（知・技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができた。 （思・判・表）健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができた。 （主学）健康・安全についての学習に自主的に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「保健」 （4～7月） 「交通事故や自然災害などによる傷害発生要因」 「交通事故などによる傷害の防止」 単元3「応急手当の意義と実際」	・人的要因や環境要因などの関わりによる傷害の発生 ・安全な行動、環境の改善による傷害の予防 ・自動車の特性 ・車両や道路、気象条件の状況に応じた安全な行動 ・自動車事故での加害責任、保険加入 ・AEDの使用を含む心肺蘇生法 ・止血、患部の保護や固定 ・事故場面での応急救置
2 学期	14	（知及技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。（高2段階1ア） （思判表力）健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階1イ） （学・人）健康・安全についての学習に自主的に取り組むことができる。（高2段階ウ）	（知・技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができた。 （思・判・表）健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができた。 （主学）健康・安全についての学習に自主的に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「保健」 （9～12月） 「欲求やストレスへの対処と心の健康」 「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」	・精神と身体の相互影響 ・欲求やストレスの心身への影響と適切な対処 ・ストレスへの対処の方法 ・心身への様々な影響 ・健康を損なう原因 ・個人の心理状態や人間関係、社会環境などの要因に「たいする適切な対処 ・薬物乱用による影響 ・医療用薬品の扱い、オーバードーズ等
3 学期	9	（知及技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。（高2段階1ア） （思判表力）健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階1イ） （学・人）健康・安全についての学習に自主的に取り組むことができる。（高2段階ウ）	（知・技）心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等の理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができた。 （思・判・表）健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。（高2段階1イ） （主学）健康・安全についての学習に自主的に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「保健」 （1～3月） 「生活に伴う廃棄物」 「健康を守る社会の取り組み」	・ゴミの分別 ・生活廃棄物のリサイクル ・SDGs ・廃棄物の衛生的管理 ・健康の保持増進 ・予防接種や健康診断 ・医薬品の正しい使用
総時数	35				

令和7年度 高等部3年Ⅱ課程（産業コース）職業科(座学) 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	
2/70		高等部3年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。（高2段階） （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見い出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。（高2段階） （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	（知及技）勤労の意義について理解を深めることができる。（高2段階Aア（ア）） （思判表力）目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。（高2段階Aア（イ）） （学・人）作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高2段階Aア（ウ））	（知・技）勤労の意義について理解を深めることができた。 （思・判・表）目標を持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができた。 （主学）作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○オリエンテーション（4月） ・授業の目標と活動内容について ○「自分のこと」（4月） ④生活スケジュール ⑤卒業後の進路先 ⑥やりたいこと、夢、職業	・授業の目標や活動内容について知り、学習の見通しを持つ。 ・学校生活が社会生活と関連していることを理解し、スケジュール管理や休日の過ごし方について課題を設定し、改善方法を考え実践する。 ・卒業後の進路選択のしかたを理解し、実践する。 ・就労に向けたドリームマップを作成する。
		（知及技）職業生活に必要な実践的な知識を深め技能を身に付けることができる。（高2段階Aイ（ア））⑦ （思判表力）作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができる。（高2段階Aイ（イ））⑦ （学・人）作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高2段階Aア（ウ））	（知・技）職業生活に必要な実践的な知識を深め技能を身に付けることができた。 （思・判・表）作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができた。 （主学）作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】学習や活動の状況およびワークシート等の記述内容に基づいて評価	○「着こなし講座」 ○「身だしなみ講座」 ○「金融教育講座」（5・7月）	・「洋服の青山」のスタッフによる着こなし講座を受講するとともに実践を行う。 ・「資生堂」のスタッフによる身だしなみ講座を受講するとともに実践を行い、身だしなみについて理解する。 ・外部講師による講話を聞き、ライフプランについて知り、将来設計を行う。 ・ワークシートを活用して講義内容の振り返りやまとめを行う。
		（知及技）職業生活に必要な実践的な知識を深め、技能を身に付けることができる。（高2段階Aイ（ア））⑦ （思判表力）職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。（高2段階Aイ（イ））⑨ （学・人）作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高2段階Aア（ウ））	（知・技）職業生活に必要な実践的な知識を深め、技能を身に付けることができた。 （思・判・表）職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができた。 （主学）作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「働くこと」（5月） ⑨給与や待遇 ⑩仕事に対する心構え ○「働くために必要なこと」（5月） ⑦面接（事前挨拶） ⑧実習に行く前に ⑨実習中の生活	・最低賃金や雇用時間、雇用条件、福利厚生について理解する。 ・自分に合った情緒の安定の方法や意欲を維持する方法を理解する。 ・面接の基礎知識や質問応対の仕方について理解し、実践する。 ・目標、実習内容、実習先の情報、通勤方法、持ち物、日誌の書き方について理解する。 ・実習中の日課、健康管理、通勤中のトラブル対処の方法等を理解し、実践する。
		（知及技）職業など卒業後の進路に必要なことについて理解を深めることができる。（高2段階Cア） （思判表力）産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現することができる。（高2段階Cイ） （学・人）作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高2段階Aア（ウ））	（知・技）職業など卒業後の進路に必要なことについて理解を深めることができた。 （思・判・表）産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現することができた。 （主学）作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】実習日誌、活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「働くこと」（5月～6月） ⑩仕事に対する心構え ○「働くために必要なこと」（6月～7月） ⑨実習中の生活 ⑩事後学習と報告会 ⑪作業工程の理解（技能検定）	・自分に合った情緒の安定の方法や意欲を維持する方法を実践する。 ・実習中の日課、健康管理、通勤中のトラブル対処の方法等を理解し、実践する。 ・実習を振り返り、自己の成長や課題、改善策について考え、発表する。 ・メンテナンス部門（自在ぼうき・モップ・机ふき）の技能について理解し、工夫・実践する。
		（知及技）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作することができる。（高2段階Bア） （思判表力）情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現することができる。（高2段階Bイ） （学・人）作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高2段階Aア（ウ））	（知・技）情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作することができる。 （思・判・表）情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現することができた。 （主学）作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「働くこと」（9月） ⑨給与や待遇 ⑩タイピング ・情報モラル	・求人票の見方について知り、理解する。 ・調べたことをICT機器を使ってまとめ、発表する。 ・情報発信による他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し、情報社会での行動に責任をもつことを理解し、実践する。

2 学 期	28	(知及技)職業生活に必要な実践的な知識を深め、技能を身に付けることができる。(高2段階Aイ(ア)㉔) (思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。(高2段階Aイ(イ)㉕) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)職業生活に必要な実践的な知識を深め、技能を身に付けることができた。 (思・判・表)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「働くために必要なこと」(9月～10月) ⑮金銭管理 ⑯移動手段 ⑰面接(事前挨拶) ⑱さまりや制度	・通帳・貯金・カードの種類などについて理解する。 ・交通機関の利用方法や免許について理解する。 ・履歴書の書き方について学び、実践する。 ・税金、年金、療育手帳、保険制度等について理解を深める。
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができる。(高2段階Cア) (思判表力)産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現することができる。(高2段階Cイ) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができた。 (思・判・表)産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現することができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】実習日誌、活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「働くこと」 (10月～11月) ⑨給与や待遇 ○「働くために必要なこと」(10月～11月) ⑲実習中の生活 ⑳事後学習と報告会	・給与明細表の見方について知り、理解する。 ・実習中の日課、健康管理、通勤中のトラブル対処の方法等を実践する。 ・実習を振り返り、自己の成長や課題、改善策について考え、発表する。
		(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深めることができる。(高2段階Aイ(ア)㉔) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができる。(高2段階Aイ(イ)㉕) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深めることができた。 (思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートなどで評価する。	○「働くために必要なこと」(11月～12月) ⑮金銭管理 ⑯移動手段 ⑰お礼状の書き方 ⑱作業工程の理解(技能検定)	・実習日誌や評価表を活用しながら事前に学習したそれぞれの項目について後期就業体験実習を振り返り、成果と課題、改善策について考え、実践を図る。 ・お礼状の書き方について理解し、実習先へお礼状を書く。 ・メンテナンス部門(自在ぼうき・モップ・机ふき)の技能について理解し、実践する。
3 学 期	18	(知及技)職業生活に必要な実践的な知識を深め技能を身に付けることができる。(高2段階Aイ(ア)㉔) (思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。(高2段階Aイ(イ)㉕) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)職業生活に必要な実践的な知識を深め技能を身に付けることができた。 (思・判・表)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】学習や活動状況等の観察による評価ワークシート等の記述内容に基づいて評価	○「消費者教育講座」(1月)	・消費者教育講座を受講し、「契約」や「消費者トラブル」について知る。 ・ワークシートに講義内容をまとめ、記入する。 ・自分について考えたり、働く目的と意義について学ぶ。(キャリアパスポート)
		(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深めることができる。(高2段階Aイ(ア)㉔) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができる。(高2段階Aイ(イ)㉕) (学・人)	(知・技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解を深めることができた。 (思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートなどで評価する。	○「社会生活において必要なこと」 (1月～2月) ②経済生活 ③生活の場 ④相談機関 ⑤地域との関わり	・給料と生活費、貯金、悪徳商法などについて理解する。 ・いろいろな生活の場(自宅・通勤・グループホーム・入所施設・社員寮・一人暮らしなど)があることの理解を深める。 ・困ったときに相談できる機関(福祉事務所・相談支援事業所・ハローワーク・地域の就労支援機関・権利擁護センターなど)について理解を深める。 ・学校近隣の清掃活動や作品提供を行う。
		(知及技)勤労の意義について理解を深めることができる。(高2段階Aア(ア)) (思判表力)作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高2段階Aイ(イ)㉕) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)勤労の意義について理解を深めることができた。 (思・判・表)作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「自分のこと」 (2月～3月) ①好きなこと、よいところ ⑥やりたいこと、夢、職業	・ドリームマップやワークシートなどを活用し、1年間の学習の振り返りを行いながら、自分の成長点や今後の課題点を確認し、卒業後の進路や今後の夢実現に向けて、課題改善策を考え、実践する。
総時数	70				

令和7年度 高等部3年Ⅱ課程（産業コース）職業科（トータルクリーニング・アシストサービス班）年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	
6/210		高等部3年Ⅱ課程(産業コース)			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。(高2段階) (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。(高2段階) (学・人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技)勤労の意義について理解を深めることができる。(高2段階Aア(ア)) (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高2段階Aア(イ)) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)勤労の意義を理解を深めることができた。 (思・判・表)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○オリエンテーション (4月) ・授業の目標と活動内容について ・SDGsについて	・授業の目標や活動内容について理解を深め、学習の見通しを持つ。 ・雇用のある職種について理解を深める。 ・SDGsの理念や17の目標について理解を深める。
		(知及技)職業生活に必要なとされる実践的な知識を深め、技能を身に付けることができる。(高2段階Aイ(ア)㊟) (思判表力)作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高2段階Aイ(イ)㊟) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)職業生活に必要なとされる実践的な知識を深め、技能を身に付けることができた。 (思・判・表)作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○労働者としての基礎的な態度やマナー(4月～5月) ・挨拶 ・言葉遣い ・身だしなみ ・「報告・連絡・相談」	・働く上で必要な、他者に対する望ましい関わり方や態度、マナーについて理解を深める。
		(知及技)使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うことができる。(高2段階Aイ(ア)㊟) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができる。(高2段階Aイ(イ)㊟) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うことができた。 (思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○清掃の基礎的な作業工程について(5月～7月) ・机拭き ・自在ほうき ・モップ ・乾式モップ	・机拭きの基礎的な作業工程について理解を深める。 ・自在ほうきの基礎的な作業工程について理解を深める。 ・モップ清掃の基礎的な作業工程について理解を深める。 ・乾式モップの基礎的な作業工程について理解を深める。 教材(技能検定動画、技能検定仕様書)
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができる。(高2段階Cア) (思判表力)産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現することができる。(高2段階Cイ) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができた。 (思・判・表)産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現することができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】実習日誌、活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○前期就業体験実習 (5月中旬～6月初旬) ・事前学習 ・実践 ・産業教育実践講座 ・事後学習	・働く上で必要な、他者に対する望ましい関わり方や態度、マナーについて理解を深め、実践する。 ・清掃の基礎的な作業工程について理解を深め、実践する。 ・目標、実習内容、持ち物、日誌の書き方について理解を深め、実践する。 ・実習内容について理解を深める。 ・実習を振り返り、自己の成長や課題、改善策について考え、発表する。
		(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めることができる。(高2段階Aイ(ア)㊟) (思判表力)生産や生育活動等に関わる技術に込められた工夫について考えることができる。(高2段階Aイ(イ)㊟) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めることができた。 (思・判・表)生産や生育活動等に関わる技術に込められた工夫について考えることができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○労働者としての態度について(近隣企業での職業体験を通して) (6月中旬～7月) ・車内清掃 ・洗車	・働く上で必要な、他者に対する望ましい関わり方や態度、マナーについて理解を深める。 ・オフィスアシスタントの業務の意義について理解を深める。 ・近隣企業の業務内容について理解を深める。 ・洗車や車内清掃に利用する道具等の特性や扱い方及び技術の工夫について理解を深める。 ・近隣企業でのルールとマナーについて理解を深める。 (体験場所:トヨタタウン名護店)

2 学 期	84	(知及技)職業生活に必要なとされる実践的な知識を深め、技能を身に付けることができる。(高2段階AI(ア)㉔) (思判表力)作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高2段階AI(イ)㉔) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)職業生活に必要なとされる実践的な知識を深め、技能を身に付けることができた。 (思・判・表)作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができる。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○労働者としての態度について(近隣企業での職場体験を通して)(9月～12月) ・車内清掃 ・洗車 ・保育補助	・働く上で必要な、他者に対する望ましい関わり方や態度、マナーについて理解を深める。 ・基礎的なオフィスアシスタントの業務手順について理解を深める。 ・近隣企業の業務内容について理解を深める。 ・近隣企業でのルールとマナーについて理解を深める。 (体験場所:トヨタ名護店、ラララ保育園) ・就労支援について理解を深める。
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができる。(高2段階Cア) (思判表力)産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現することができる。(高2段階Cイ) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができた。 (思・判・表)産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現することができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】実習日誌、活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○後期就業体験実習(10月中旬～11月上旬) ・事前学習 ・実践 ・事後学習	・前期実習を振り返り、後期の実習の目標を立てる。 ・実習内容について理解を深める。 ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等労働者としての基礎的な態度やマナーについて理解を深め、実践する。 ・実習先でのルールとマナーについて理解を深め、実践する。 ・実習先での仕事内容について理解を深める。 ・実習を振り返り、自己の成長や課題、改善策について考え、発表する。
3 学 期	54	(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作することができる。(高2段階Bア) (思判表力)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現することができる。(高1段階Bイ) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作することができた。 (思・判・表)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現することができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○1年間の活動をまとめる	・アプリの特性や機能を理解し、目的に応じたアプリを選択して適切に操作しながら情報を収集する。 ・情報機器を用いて収集した情報を活用しながら、自分の1年間の活動を相手に伝わりやすいようにまとめ、適切に記録し、発表する。
		(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟することができる。(高2段階AI(ア)㉔) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができる。(高2段階AI(イ)㉔) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟することができた。 (思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、他者との協働により改善を図ることができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○働くことの大切さや社会生活の実践について(近隣企業での就業体験を通して)(1月～2月)	・働く上で必要な、他者に対する望ましい関わり方や態度、マナーについて理解を深める。 ・基礎的なオフィスアシスタントの業務手順について理解を深める。 ・近隣企業の業務内容について理解を深める。 ・近隣企業でのルールとマナーについて理解を深める。 (体験場所:トヨタ名護店、ラララ保育園)
		(知及技)勤労の意義について理解を深めることができる。(高2段階Aア(ア)) (思判表力)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高2段階Aア(イ)) (学・人)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高2段階Aア(ウ))	(知・技)勤労の意義について理解を深めることができた。 (思・判・表)目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができた。 (主学)作業や実習を通して貢献する喜びを体得し、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○年間のまとめ(3月) ・成果と課題 ・課題解決策を考える	・1年間の学習の振り返りを行いながら、自分の成長点や今後の課題点を確認し、卒業後の望ましい社会生活の実現に向けて、課題改善策を考え、記録・発表する。
総時数	210				

令和7年度 高等部3年Ⅱ課程（産業コース） 家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数		児童生徒		担当者	
2／70		高等部3年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知・技) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高2段階) (思・判・表) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高2段階) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高2段階)			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	24	(知・技) 自分の成長と家族や家庭生活の関わりが分かり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることを理解することができる。(高2段階Aア(ア)) (思・判・表) 家族とのよりよい関わり方について考え、工夫することができる。(高2段階Aア(イ)) (学・人) 実生活を通じてよりよい家庭生活の実現に向けて工夫し、実践できる。(高2段階ウ)	(知・技) 自分の成長と家族や家庭生活の関わりが分かり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることを理解することができた。 (思・判・表) 家族とのよりよい関わり方について考え、工夫することができた。 (主学) 実生活を通じてよりよい家庭生活の実現に向けて工夫し、実践することができた。 【評価資料】 活動内容の様子と発表、振り返りシートで評価する。	家族と家庭生活(4月) ・家族や家庭の役割 ・家庭生活って何ですか	・自分の成長を振り返る。 ・さまざまな家族について学習する。 ・家族のはたらき・家族の役割について学習する。
		(知・技) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解を深め、実践することができる。(高2段階Aウ(ア)) (思・判・表) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、工夫することができる。(高2段階Aウ(イ)) (学・人) 実生活を通じてよりよい余暇の実現に向けて工夫し、実践できる。(高2段階ウ)	(知・技) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解を深めることができた。 (思・判・表) 健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、工夫することができた。 (主学) 実生活を通じてよりよい余暇の実現に向けて工夫し、実践することができた。 【評価資料】 活動内容の様子と発表、振り返りシートで評価する。	余暇の過ごし方(5月) ・余暇を楽しく過ごす ・人とのつき合い ・療育手帳による割引	・余暇について考える。 ・人との付き合いやマナーについて学習する。 ・療育手帳について知る。
		(知・技) 自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解することができる。(高2段階Bア(ア)) (思・判・表) 一日分の献立について考え工夫することができる。(高2段階Bア(イ)) (学・人) 実生活を通じてよりよい日常食の食事の実現に向けて工夫し、実践できる。(高2段階ウ)	(知・技) 自分に必要な栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解することができた。 (思・判・表) 一日分の献立について考え工夫することができた。 (主学) 実生活を通じてよりよい食事の実現に向けて工夫し、実践することができた。 【評価資料】 活動内容の様子と発表、振り返りシートで評価する。	元気な体をつくる食事(5～6月) ・栄養と食品の関係 ・食事の計画をたてよう ・食品の選び方	・栄養素の種類と働きについて学習する。 ・食事づくりの手順や献立の立て方について学習する。 ・賞味期限・消費期限について学習する。 ・加工食品について学習する。 ・食品の保存、食中毒について学習する。
		(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。(高2段階Bイ(ア)) (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫できる。(高2段階Bイ(イ)) (学・人) 実生活を通じてよりよい日常食の調理の実現に向けて工夫し、実践できる。(高2段階ウ)	(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理を適切にすることができた。 (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫することができた。 (主学) 実生活を通じてよりよい日常食の調理の実現に向けて工夫し、実践することができた。 【評価資料】 活動内容の様子と発表、振り返りシートで評価する。	調理をはじめる前に(6～7月) ・調理の流れ ・調理器具の使い方 ・基礎的な調理の仕方 ・あと片づけの仕方 調理をしよう	・調理実習前に、調理器具の使い方や調理の仕方について復習を行う。 ・日常食の調理を行う。

		(知・技) 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。(高2段階C(ア)ア) 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。(高2段階C(ア)イ) (思・判・表) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫することができる。(高2段階C(ア)イ)) (学・人) 実生活を通じてよりよい消費生活の実現に向けて工夫し、実践できる。(高2段階ウ)	(知・技) 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解することができた。 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできた。 (思・判・表) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫することができた。 (主学) 実生活を通じてよりよい消費生活の実現に向けて工夫し、実践することができた。 【評価資料】 活動内容の様子と発表、振り返りシートで評価する。	家庭の経済生活(6～7月) ・仕事とお金 ・家庭のお金の出入り ・お金と物・サービス ・家計簿をつける ・お金の計画 計画的な消費生活 ・商品を選ぶ ・購入方法を知る ・支払い方法を知る ・悪徳商法対策 ・クーリング・オフ制度 ・消費生活センター	・お金の出入りについて学習する。 ・計画的なお金の使い方について考える。 ・家計簿の書き方について学習する。 ・購入方法や支払い方法について学ぶ。
		(知・技) 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解することができる。(高2段階C(イ)ア)) (思・判・表) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、工夫することができる。(高2段階C(イ)イ)) (学・人) 実生活を通じてよりよい消費生活の実現に向けて工夫し、実践できる。(高2段階ウ)	(知・技) 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解することができた。 (思・判・表) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、工夫することができた。 (主学) 実生活を通じてよりよい消費生活の実現に向けて工夫し、実践することができた。 【評価資料】 活動内容の様子と発表、振り返りシートで評価する。	消費者と基本的な権利と責任(7月) ・8つの権利 ・5つの責任 環境に配慮した生活 ・環境を考えて生活しよう ・グリーン・コンシューマーになろう	・消費者の権利や責任について理解する。 ・自分や家族の消費行動と環境との関わりについて学習する。 ・持続可能な社会を目指して、自分や家族ができることを考える。 ・消費者教育講座
2 学 期	28	(知・技) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできる。(高2段階B(ウ)ア)) (思・判・表) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え、工夫することができる。(高2段階B(ウ)イ)) (学・人) 実生活を通じてよりよい衣生活の実現に向けて工夫し、実践できる。(高2段階ウ)	(知・技) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にすることができた。 (思・判・表) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて考え、工夫することができた。 (主学) 実生活を通じてよりよい衣生活の実現に向けて工夫し、実践することができた。 【評価資料】 活動内容の様子と発表、振り返りシート、作品で評価する。	衣服の洗濯と保管(9～10月) ・衣服を洗濯する目的 ・基本的な洗濯の手順 ・洗濯に使う洗剤について	・洗濯洗剤について学習する。 ・洗濯の流れを確認し、実際に洗濯をする。 ・アイロンのかけ方について確認し、制服をアイロンする。
		(知・技) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解することができる。(高2段階B(エ)ア)) (思・判・表) 布を用いた簡単な物の製作計画を考え、製作を工夫することができる。(高2段階B(エ)イ)) (学・人) 実生活を通じてよりよい生活を豊かにする布を用いた製作の実現に向けて工夫し、実践できる。(高2段階ウ)	(知・技) 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解することができた。 (思・判・表) 布を用いた簡単な物の製作計画を考え、製作を工夫することができた。 (主学) 実生活を通じてよりよい布を用いた製作の実現に向けて工夫することができた。 【評価資料】 活動内容の様子と発表、振り返りシートで評価する。	衣服の製作(10～12月)	・身の回りの生活を快適にしたり、資源や環境に配慮したりするなど、自分や家族、地域の人々の生活を豊かにする布を用いた物を製作する。
		(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。(高2段階B(イ)ア)) (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫できる。(高2段階B(イ)イ)) (学・人) 実生活を通じてよりよい日常食の調理の実現に向けて工夫し、実践できる。(高2段階ウ)	(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理を適切にすることができた。 (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫することができた。 (主学) 実生活を通じてよりよい日常食の調理の実現に向けて工夫し、実践することができた。 【評価資料】 活動内容の様子と発表、振り返りシートで評価する。	調理をしよう(11～12月)	・日常食の調理を行う。

3 学 期	18	(知及技) 乳幼児や高齢者などの生活の特徴が分かり、乳幼児や高齢者などとの関わり方について理解することができる。(高2段階A工(ア)) (思判表力) 乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、工夫することができる。(高2段階A工(イ)) (学・人) 実生活を通じてよりよい家族・家庭生活の実現に向けて工夫し、実践できる。(高2段階ウ)	(知・技) 乳幼児や高齢者などの生活の特徴が分かり、乳幼児や高齢者などとの関わり方について理解することができた。 (思・判・表) 乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、工夫することができた。 (主学) 実生活を通じてよりよい家族・家庭生活の実現に向けて工夫し、実践することができた。 【評価資料】 活動内容の様子と発表、振り返りシートで評価する。	高齢者と共に(1月) ・高齢者のくらしぶりを知っていますか ・高齢者を支える介護を学ぼう - 子どもと共に ・子どもの世界 ・子どもの生活 ・子どもと家庭や周囲の人びと	・高齢者の身体の特徴を学習する。 ・高齢期の生活について学習する。 ・子どもの身体の特徴や発達について学習する。 ・遊びについて学習する。 ・高齢者疑似体験をしよう。 ・幼稚部と交流学習をしよう。
		(知及技) 家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることを理解することができる。(高2段階A工(ア)) (思判表力) 家族と地域の人々とのよりよい関わり方について考え、工夫することができる。(高2段階A工(イ)) (学・人) 実生活を通じてよりよい家庭と地域との関わりの実現に向けて工夫し、実践できる。(高2段階ウ)	(知・技) 家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることを理解することができた。 (思・判・表) 家族と地域の人々とのよりよい関わり方について考え、工夫することができた。 (主学) 実生活を通じてよりよい家庭と地域との関わりの実現に向けて工夫し、実践することができた。 【評価資料】 活動内容の様子と発表、振り返りシートで評価する。	共に支え合う生活(1月) ・くらしやすい地域づくり ・地域で行われている活動	・バリアフリーやユニバーサルデザインについて学習する。 ・地域で行われている活動について知る。
		(知及技) 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解することができる。(高2段階Bオ(ア)) (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、工夫することができる。(高2段階Bオ(イ)) (学・人) 実生活を通じてよりよい住生活の実現に向けて工夫し、実践できる。(高2段階ウ)	(知・技) 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解することができた。 (思・判・表) 家族の安全や快適さを考えた住空間の整え方について考え、工夫することができた。 (主学) 実生活を通じてよりよい住生活の実現に向けて工夫し、実践することができた。 【評価資料】 活動内容の様子と発表、振り返りシートで評価する。	健康で快適に住まう(2～3月) ・太陽光と採光 ・室内環境(室温・湿度・空気の流れ) ・そうじ ・整理・整とん - くらしと空間 ・住居の広さ - みんなと共に住まう ・家族と共に住む ・地域の人と共に住む - 安全に住むために ・家庭内事故のいろいろ ・地震に備えよう ・火災から身を守ろう ・防犯対策をしよう	・室内環境について学習する。 ・教室の掃除と整理整頓を行う。 ・住空間について学習する。 ・住まいと地域について学習する。 ・家庭内事故について学習する。
		(知及技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。(高2段階Bイ(ア)) (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫できる。(高2段階Bイ(イ)) (学・人) 実生活を通じてよりよい日常食の調理の実現に向けて工夫し、実践できる。(高2段階ウ)	(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理を適切にすることができた。 (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫することができた。 (主学) 実生活を通じてよりよい日常食の調理の実現に向けて工夫し、実践することができた。 【評価資料】 活動内容の様子と発表、振り返りシートで評価する。	調理をしよう(2～3月)	・日常食の調理を行う。
総時 数	70				

令和7年度 高等部3年 II課程（産業コース） 外国語 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	
1 / 35		高等部 3 年 II 課程 産業コース			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。(高2段階) (思判表力) コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(高2段階) (学・人)外国語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 英語の音声及び簡単な語句や表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高2段階) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。(高2段階) (学・人) アルファベットや身の周りにある英語に関心を持ち、主体的に意味を理解することができる。(高2段階)	(知・技) 英語の音声及び簡単な語句や表現などについて、日本語との違いを意識している。 (思・判・表) 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝えようとしている。 (主学) アルファベットや身の周りにある英語に関心を持ち、主体的に意味を理解しようとしている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント	「自己表現」 (4～5月) ・好きな教科 ・時間の過ごし方 「簡単な動詞」 ・スポーツをするplay 「時間の表現」(5月) ・after school	・アクセントや発音を意識し、英語で自己紹介を行う。 ・好きな教科や活動を英語で表現する。 ・放課後の過ごし方を英語で表現する。 ・google earthを活用し、自分の住む地域で見られる英語の文字の意味を調べまとめる。
		(知及技) 英語の音声や文字などを読み書きしたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高2段階) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合うことができる。(高2段階) (学・人) 挨拶を交えた簡単な会話を主体的に練習することができる。(高2段階)	(知・技) 英語の音声や文字などを読み書きしたりして日本語の音声や文字などとの違いを意識している。 (思・判・表) 身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりしようとしている。 (主学) 挨拶を交えた簡単な会話を主体的に練習している。 【評価資料】活動の様子、学習プリント	「what疑問文」 (6～7月) ・what is your name? ・what subject do you like? 「what疑問文②」 ・what do you do? 「自己表現②」 ・自分の得意分野など	・生徒同士でwhatを使って名前を尋ねたり答えたりする練習を行う。 ・生徒同士で、好きな教科を尋ねたり答えたりする練習を行う。 ・放課後の過ごし方を尋ねたり、答えたりする練習を行う。 ・挨拶から始まる自己PRを考え、その中で自分の得意分野を英語で表現する。
2 学期	14	(知及技) 英語の音声文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの動きがあることに気付くことができる。(高2段階) (思判表力) 日時を表す表現など身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。(高2段階) (学・人) 日時を交えた簡単な会話を主体的に練習することができる。(高2段階)	(知・技) 英語の音声文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの動きがあることを意識している。 (思・判・表) 日時を表す表現など身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ろうとしている。 (主学) 日時を交えた簡単な会話を主体的に練習している。 【評価資料】活動の様子、学習プリント	「what疑問文③」 (9～10月) ・what time do you get up? 「私の一日」 ・I get up at 「簡単な動詞」 ・have, come, leave	・whatで始まる簡単な疑問文を何度も聞き、内容を理解する。 ・曜日や時間の表現を英語で聞き、内容を理解する。 ・何曜日の何時に、どういった活動をするという簡単な内容を英語で表現する。
		(知及技) 英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いに気付くことができる。(高2段階) (思判表力) 自分のことや学校生活などを身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などを結びつけることができる。(高2段階) (学・人) 英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いに気付くことができ、主体的に表現の幅を広げることができる。(高2段階)	(知・技) 英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いを意識している。 (思・判・表) 自分のことや学校生活などを身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などを結びつけようとしている。 (主学) 英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いに気付くことができ、主体的に表現の幅を広げようとしている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント	「what疑問文④」 (11～12月) ・what do you have for breakfast? 「継続的な行動」 ・I always have 「what疑問文⑤」 ・what chores do you do?	・whatで始まる簡単な疑問文を何度も聞き、内容を理解する。 ・alwaysやeveryday等の表現を用い、自らの生活を英語で表現する。 ・whatを用いた英語特有の表現を理解し、発表練習を行う。
3 学期	9	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2段階) (思判表力) 紹介することに関する特有の表現を使うことができる。(高2段階) (学・人) 簡単な語句や基本的な表現などを主体的に活用することができる。(高2段階)	(知・技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件を相手に伝えようとしている。 (思・判・表) 紹介することに関する特有の表現を使おうとしている。 (主学) 簡単な語句や基本的な表現などを主体的に活用しようとしている。 【評価資料】活動の様子、学習プリント	「休み中のできごと」 (1～2月) ・my holidays 「what疑問文⑤」 ・what did you do during the winter holidays? 「簡単な動詞」 ・I went to	・休日の過ごし方を英語で理解する。 ・自らの休日の過ごし方を英語で表現する。 ・冬休みに何をしたかを英語で尋ねる。 ・冬休みに何をしたかを英語で発表する。 ・基本的な動詞を用いて、様々な表現を発表練習する。
		(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2段階) (思判表力) 自らのことについて、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちを伝えることができる。(高2段階) (学・人) 簡単な語句や基本的な表現などを主体的に活用することができる。(高2段階)	(知・技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件を相手に伝えようとしている。 (思・判・表) 自らのことについて、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 (主学) 簡単な語句や基本的な表現などを主体的に活用している。 【評価資料】活動の様子、学習プリント	「好きな物」 (2～3月) ・what's your favorite book? 「理由を説明」 ・because 「1年間の総括」 ・my goal	・whatで始まる簡単な疑問文を用い、質問をすることができる。 ・質問に対し、becauseを用いて回答することができる。 ・学習した内容を活用し、自らの夢を英語で発表する。
総時数	35				

令和7年度 高等部3年 II課程（産業コース） 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	
1/35		高等部3年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知・技)効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータ活用について理解し、基礎的な技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。（高2段階） (思・判・表)身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。（高2段階） (学・人)身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知・技)身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について基本的な理解をすることができる。(高2段階Aア(ウ)) (思・判・表)身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の在り方について考えることができる。(高2段階Aア(ウ)) (学・人)情報を構造的に理解することができる。(高2段階ウ)	(知・技)身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について基本的な理解をしている。 (思・判・表)身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の在り方について考えることができる。 (主学)情報を構造的に理解しようとしている。 【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。	「進路について事前調査」 ・オリエンテーション ・就業体験先の事前調査 (4月)	・就業体験先の事前調査を行い、必要な情報を集め、整理する。 ・教材(検索エンジン)
		(知・技)情報に関する身近で基本的な法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解することができる。(高2段階Aア(イ)) (思・判・表)情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を捉え、考えることができる。(高2段階Aイ(イ)) (学・人)情報を批判的に考察することができる。(高2段階ウ)	(知・技)情報に関する身近で基本的な法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解することができる。 (思・判・表)情報に関する身近で基本的な法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を捉え、考えることができる。 (主学)情報を批判的に考察しようとしている。 【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。	「情報社会における法規や制度について」 (5,6月)	・インターネット上の危険について知る。 ・教材(関連動画)
		(知・技)身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。(高2段階Aア(ア)) (思・判・表)目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決することができる。(高2段階Aイ(ア)) (学・人)情報及び情報技術の活用を振り返り、効果や改善点を見出そうとすることができる。(高2段階ウ)	(知・技)身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。 (思・判・表)目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えていることができる。 (主学)情報及び情報技術の活用を振り返り、効果や改善点を見い出そうとしている。 【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。	「情報やメディアについて」 (7月)	・生活の中で情報やコンピュータ等の情報機器が果たす役割を知り、それらの活用について考える。 ・教材(PC、タブレット)
2 学期	14	(知・技)身近にある情報デザインから効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けることができる。(高2段階Bア(ウ)) (思・判・表)効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直すことができる。(高2段階Bイ(ウ)) (学・人)発信した情報が及ぼす影響を踏まえ、行動することができる。(高2段階ウ)	(知・技)身近にある情報デザインから効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けている。 (思・判・表)効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直している。 (主学)発信した情報が及ぼす影響を踏まえ、行動している。 【評価資料】活動や実習の様子、作品、発表、ふりかえりシートで評価する。	「観光地について調べ、プレゼンテーションする」 (9,10月)	・写真加工やスライドショーを作成する。 ・教材(動画作成ソフト)
		(知・技)身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について理解することができる。(高2段階Cア(イ)) (思・判・表)情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えることができる。(高2段階Cイ(イ)) (学・人)情報通信ネットワークで提供されるサービスを活用し、進路選択に役立てることができる。(高2段階ウ)	(知・技)身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について理解している。 (思・判・表)情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えようとしている。 (主学)情報通信ネットワークで提供されるサービスを活用し、進路選択に役立てようとしている。 【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。	「ハローワークを活用してみよう」 (11,12月)	・ハローワークを活用する。 ・教材(ハローワークインターネットサービス)
3 学期	9	(知・技)情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について理解することができる。(高2段階Cア(ア)) (思・判・表)目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えることができる。(高2段階Cイ(ア)) (学・人)生活の中で必要となる情報セキュリティについて踏まえ、行動できる。(高2段階ウ)	(知・技)情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について理解している。 (思・判・表)目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えている。 (主学)生活の中で必要となる情報セキュリティについて踏まえ、行動しようとしている。 【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。	「情報セキュリティの重要性について」 (1月)	・インターネット上の危険に対して対策を考える。 ・教材(関連動画)
		(知・技)身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解することができる。(高2段階Bア(イ)) (思・判・表)コミュニケーションの目的に合わせて、適切かつ効果的な情報デザインを考えることができる。(高2段階Bイ(イ)) (学・人)情報を構造的に理解できる。(高2段階ウ)	(知・技)身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解している。 (思・判・表)コミュニケーションの目的に合わせて、適切かつ効果的な情報デザインを考えている。 (主学)情報を構造的に理解しようとしている。 【評価資料】活動や実習の様子、発表、ふりかえりシートで評価する。	「情報デザインに着目してみよう」 (2,3月)	・身の回りの情報デザインの特徴について知る。 ・教材(標識、ピクトグラム)
総時数	35				

令和7年度 高等部3年 II課程（産業コース） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		生徒		担当者	
1／35		高等部3年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：(知及技)知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的、多角的に考え、人間として生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。（小学部）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求することができる。(A 主として自分自身に関すること)	・自分の気持ちを優先したり、時に折り合いをつけたりなど、その都度自分なりに納得できる答えを見つけながら選択し、そしてその結果を受け止められるような態度を持とうとすることができた。 。【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「どうする？ペンケース」	・教材を通して、「自分で決める」ことについて考える。 ・自分で考えて行動し、その結果に責任をもつことについて考える。 ・自分で決めることの大切さに気づく。
		勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献することができる。(C 主として集団や社会との関わりに関すること)	・自立した生活を送るために必要な力や働くことの意味を知り、周囲の支援を受けながら少しずつ身に付けようとするすることができた。 ・「大人の自分」について話し合い、なりたい自分や、働く自分を思い描き、将来就きたい職業やその理由について、考えをまとめることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「通勤寮での生活」	・働く事への意義を考える。 ・自分が思い描く大人像のイメージを持つ。 ・前期実習に向け、勤労の意義や喜びについて考える。 ・社会人として働くために必要な生活主幹や態度等についての見直しを行う。
		生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえない生命を尊重することができる。(D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)	・一人ひとりの命がかけがえないものであること、受け継がれ大切にされてきた命であることに気付くことができた。 ・命がどのようなものか自分なりに考え、自他の命を大切にしていこうとすることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「おじいさんと妹」	・命の繋がりについて考える。 ・違う二つの命それぞれについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり伝えたりする。
2学期	14	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励ましあい、高めあうとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めることができる。(B 主として人との関わりに関すること)	・友情を深め、信頼関係を築き、日常の友人関係を多面的・多角的に捉えることができた。 ・信頼できる人間関係を築くなど実践的な態度を持とうとすることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「将棋大会」	・「友情」はどういった感情か考える。 ・登場する2名の心境をそれぞれの立場から考えることで、本当の友情について考え、発表する。
		自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めることができる。(B 主として人との関わりに関すること)	・相手の立場で考えることの難しさとそれができると互いにわかり合い、さらに高みを共に目指せることに気づき、相手の思いを理解し相手を尊重するための判断力を持とうとしている。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「文化祭の準備」	・生徒間のトラブルになりにかかない事例を読んで、トラブルにならない方法について考える。 ・友好な人間関係を形成について考える。

		社会参画の意義と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めることができる。(D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)	・ 勤労や社会に奉仕することを理解し、みんなのために役に立つことをすることについて考えることができた。 ・ 勤労等が自分のためにだけでなく、社会生活を支えるものであることを考えることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「美化委員会の仕事」	・ 役割を担って仕事に取り組むことと喜びややりがい、生きがい等について考える。 ・ 学校や社会のためにどのような活動ができるかを考える。
3 学 期	9	自然の崇高さを知り、自然環境を大切に持続可能な社会の実現に努めよとする態度を育てることができる。(D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)	・ 人間には知りたい、もっとよくなりたいなど、よりよく生きていきたいという思いと、それを発揮する強さや喜びがあることを理解し、よりよく生きていこうとしている。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「ゴゴ 九十四歳の小学生」	・ よりよく生きることについて考える。 ・ 今までの自分の行動について考える。 ・ よりよく生きる探しをしてみよう。
		学校や学級の一員としての自覚を持ち、協力し合ってよりよい校風を作るとともに、様々な集団の意義や集団生活の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めることができる。(C 主として集団や社会との関わりに関すること)	・ 目立たない役割もあるが、それぞれの役割を果たすことで集団が充実し、その一員としての喜びがあることに気づき、自分の役割をしっかりと果たそうと気持ちを持つようとしている。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「なっとう憲法」	・ 「なっとう憲法」の話を読み、主人公のクラスで起きたことについて考える。 ・ 自己に置き換え、それぞれの集団での役割を考える。
		より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気もち、困難や失敗を乗り越えて、着実にやり遂げることができる。(A 主として自分自身に関すること)	・ 自由とは、周りや自らのわがままな心に惑わされず、自分の意思でしっかり考え判断し、行動することであり、難しいがやりがいがあることを理解し、自由を生かすための判断力を持つようすることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「あこがれのスマートフォン」	・ 自由について考えを深め、自由の中での行動について考える。 ・ 「スマートフォン」を例に、自由と節度ある行動の違いについて考える。 ・ 卒業後の自分の行動を考えてみよう。
総時数	35				

令和7年度 高等部3年Ⅱ課程（産業コース）総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者		
1/35		高等部3年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 （思判表力）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめて実現することができるようにする。 （学・人）探究に主体的・協同的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	（知及技）新年度の学習や行事について知り、必要な行動の仕方を身に付けることができる。 （思判表力）1年間の学校生活や学習活動に見通しを持ち行動できる。 （学・人）年間の学習内容、行事計画を知り、学校生活への意欲を高めることができる。	（知・技）新年度の学習や行事について知り、必要な行動の仕方を身に付けることができた。 （思・判・表）1年間の学校生活や学習活動に見通しを持ち行動することができた。 （主学）年間の学習内容、行事計画を知り、学校生活への意欲を高めようとしたことができた。 【評価資料】 学習や活動状況等による評価	「学年オリエンテーション」 「学部オリエンテーション」 （4月）	・職員の名前を知る。 ・自己紹介をする。 ・職業班について確認する。 ・年間行事計画を確認する。
		（知及技）実習を通して経験したことをふり返り、自ら課題を設定したり、解決したりするために必要な知識及び技能を身に付けることができる。 （思判表力）自らの課題や解決策を設定するために適切な情報を収集、整理、分析を行い、表現をすることができる。 （学・人）社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	（知・技）実習を通して経験したことをふり返り、自ら課題を設定したり、解決したりするために必要な知識及び技能を身に付けることができた。 （思・判・表）自らの課題や解決策を設定するために適切な情報収集、整理、分析を行い、表現することができた。 （主学）社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を身に付けることができた。 【評価資料】 実習のしおり、発表会の状況観察等による評価	「前期就業体験実習事前学習」 （5月） 「前期就業体験実習事後学習・報告会」 （6月）	・自身の現状を踏まえ、前期実習における目標を設定し、具体的な目標達成方法を考える。 ・実習先や交通手段、持ち物等について確認するとともに、実習生としての態度や言葉遣いについて確認する。 ・前期実習についてまとめ、今後の課題や改善策について考え、実行する。 ・実習内容をまとめ、発表する。 ・実習報告を聞き、自身の進路選択の参考にする。
2 学期	19	（知及技）現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けることができる。 （思判表力）働くことや社会に貢献することについて、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くとともに進路の選択肢を広げることができる。 （学・人）将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	（知・技）現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けることができた。 （思・判・表）働くことや社会に貢献することについて、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くとともに進路の選択肢を広げることができた。 （主学）将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養うことができた。 【評価資料】 学習や活動の状況およびワークシート等の記述内容に基づいて評価	「卒業生進路講話」 （9月）	・卒業生進路講話を聞き、自身の進路選択の参考にする。 ・ワークシートに講義内容をまとめ、卒業後について記入する。 ・自分について考えたり、働く目的と意義について学ぶ。（キャリアパスポート）
		（知及技）校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができる。 （思判表力）日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用しよう考えることができる。 （学・人）日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養う。	（知・技）校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができた。 （思・判・表）日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用しよう考えることができた。 （主学）日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養うことができた。 【評価資料】 学習や活動状況等の観察による評価 しおり等の記述内容に基づいて評価	「生活探究の時間」 （9月）	・公共施設を利用し、社会生活上のルールや公衆道徳などについて理解し、適切な行動について考え、実践する。 ・日頃の学習活動の成果を活用しながら集団行動を行い、新たな視点から学習活動の意義を考える。 ・しおりに学習した内容を記入する。
		（知及技）協力し合ったり、自分から進んで取り組むことで経験を広げ社会性を身に付けることができる。 （思判表力）同じ社会に生きる人間として、互いを正しく理解し、共に助け合い支え合って生きていくことについて考え、学校生活や学習活動の成果を活用しよう考えることができる。 （学・人）相互に互いの人格と個性を認め尊重し合いながら協働して生活していく態度を養う。	（知・技）協力し合ったり、自分から進んで取り組むことで経験を広げ社会性を身に付けることができた。 （思・判・表）同じ社会に生きる人間として、互いを正しく理解し、共に助け合い支え合って生きていくことについて考え、学校生活や学習活動の成果を活用しよう考えることができた。 （主学）相互に互いの人格と個性を認め尊重し合いながら協働して生活していく態度を養うことができた。 【評価資料】 学習や活動状況等の観察による評価	「他校との交流会」 （10月）	・自己紹介を行う。 ・レクリエーションを通して互いに理解を深め、ともに協力し合いながら交流を深める。
		（知及技）実習を通して経験したことをふり返り、自ら課題を設定したり、解決したりするために必要な知識及び技能を身に付けることができる。 （思判表力）自らの課題や解決策を設定するために適切な情報を収集、整理、分析を行い、表現をすることができる。 （学・人）社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	（知・技）実習を通して経験したことをふり返り、自ら課題を設定したり、解決したりするために必要な知識及び技能を身に付けることができた。 （思・判・表）自らの課題や解決策を設定するために適切な情報収集、整理、分析を行い、表現することができた。 （主学）社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を身に付けることができた。 【評価資料】 実習のしおり、発表会の状況観察等による評価	「後期就業体験実習事前学習」 （10月） 「後期就業体験実習事後学習・報告会」 （11月）	・自身の現状を踏まえ、前期実習における目標を設定し、具体的な目標達成方法を考える。 ・実習先や交通手段、持ち物等について確認するとともに、実習生としての態度や言葉遣いについて確認する。 ・前期実習についてまとめ、今後の課題や改善策について考え、実行する。 ・実習内容をまとめ、発表する。 ・先輩の実習報告を聞き、自身の進路選択の参考にする。

3 学期	6	(知・技)校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができる。 (思・判・表)日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用しよう考えることができる。 (学・人)日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養うことができる。	(知・技)校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができた。 (思・判・表)日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用しよう考えることができた。 (主・学)日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養うことができた。 【評価資料】 学習や活動状況等の観察による評価 しおり等の記述内容に基づいて評価	「生活探究の時間」(2月)	・公共施設を利用し、社会生活上のルールや公衆道徳などについて理解し、適切な行動について考え、実践する。 ・日頃の学習活動の成果を活用しながら集団行動を行い、新たな視点から学習活動の意義を考える。 ・しおりに学習した内容を記入する。
総時数	35				

令和7年度 高等部3年Ⅱ課程（産業コース） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	
1/35		高等部3年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：(知及技)知識及び技能（思・判・表）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思・判・表)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(学校行事(1)) 学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすることができる。 (学校行事(3)) 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすることができる。	(学校行事(1)) 学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすることができる。 (学校行事(3)) 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすることができる。 【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。	単元1「厳粛な場における規律と行動」 単元2「健康の保持と増進」 単元3「事故から身の安全を守る」	・就任式 ・1学期始業式 ・1学期終業式 ・内科検診 ・心電図検査 ・耳鼻科検診 ・交通安全指導 ・歯科検診 ・身体測定
		(ホームルーム活動(1)イ) ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。 (ホームルーム活動(2)ア) 自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることことができる。 (ホームルーム活動(2)オ) 節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。 (ホームルーム活動(3)ア) 現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ることができる。 (ホームルーム活動(3)イ) 自主的に学習する場としての学校図書館等を活用し、自分にふさわしい学習方法や学習習慣を身に付けること ができる。	(ホームルーム活動(1)イ) ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践することができる。 (ホームルーム活動(2)ア) 自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくること ができる。 (ホームルーム活動(2)オ) 節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動 することができる。 (ホームルーム活動(3)ア) 現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること ができる。 (ホームルーム活動(3)イ) 自主的に学習する場としての学校図書館等を活用し、自分にふさわしい学習方法や学習習慣を身に付けること ができる。 【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。	単元1「学校生活と社会的自立の意義」 単元2「自他の個性の理解と尊重」 単元3「組織づくりや役割の自覚」	・学年オリエンテーション ・学部オリエンテーション ・学校探検 ・自己理解と他者理解 ・1学期の目標設定 ・係決め ・キャリア教育 ・食育(給食における衛生管理) ・学年レク ・前期就業体験実習に向けて ・平和学習 ・1学期の振り返り
		(生徒会活動(1)) 主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができる。 (生徒会活動(2)) 生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすることができる。	(生徒会活動(1)) 主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができる。 (生徒会活動(2)) 生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすることができる。 【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。	単元1「学校行事への協力」 単元2「生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営」	・新入生歓迎会 ・生徒総会 ・学部集会

2 学 期	14	(学校行事(1)) 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳肅で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすることができる。 (学校行事(2)) 平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすることができる。 (学校行事(3)) 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすることができる。	(学校行事(1)) 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳肅で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすることができる。 (学校行事(2)) 平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすることができる。 (学校行事(3)) 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすることができる。 【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。	単元1「新たな生活への自覚と気品ある行動」 単元2「文化や芸術に親しむ」 単元3「非常時(事件や災害)における身の守り方」	・2学期始業式 ・2学期終業式 ・芸術鑑賞会 ・総合避難訓練① ・総合避難訓練②
		(ホームルーム活動(1)ア) ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。 (ホームルーム活動(2)イ) 男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画することができる。 (ホームルーム活動(2)エ) 心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとすることができる。 (ホームルーム活動(2)オ) 節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。 (ホームルーム活動(3)ウ) 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。	(ホームルーム活動(1)ア) ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。 (ホームルーム活動(2)イ) 男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画することができる。 (ホームルーム活動(2)エ) 心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとすることができる。 (ホームルーム活動(2)オ) 節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。 (ホームルーム活動(3)ウ) 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。	単元1「学校生活上の諸問題の解決」 単元2「男女相互の理解と協力」 単元3「悩みや不安への向き合い方」	・自己理解と他者理解 ・2学期の目標設定 ・係決め ・キャリア教育 ・食育 ・防災教育 ・安全教育 ・1日生活探究に向けて ・後期就業体験実習に向けて ・交流及び共同学習に向けて ・世界エイズデーについて ・2学期の振り返り
		(生徒会活動(1)) 主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができる。	(生徒会活動(1)) 主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができる。 【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。	単元「組織づくりや役割の自覚」	・学部集会
		(学校行事(1)) 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳肅で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすることができる。 (学校行事(3)) 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすることができる。 (学校行事(5)) 勤労の尊さや想像することの喜びを体得し、就業体験活動などの勤労観・職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすることができる。	(学校行事(1)) 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳肅で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすることができる。 (学校行事(3)) 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすることができる。 (学校行事(5)) 勤労の尊さや想像することの喜びを体得し、就業体験活動などの勤労観・職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすることができる。 【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。	単元1「新たな生活への希望や意欲」 単元2「防災」 単元3「社会貢献」	・3学期始業式 ・高等部卒業式 ・総合避難訓練③ ・生産物販売会

3 学期	9	(ホームルーム活動(1)ウ) 生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合って決めることができる。 (ホームルーム活動(2)イ) 男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画することができる。 (ホームルーム活動(2)ウ) 我が国と他国の文化や生活習慣などについて理解し、よりよい交流の在り方を考えるなど、共に尊重し合い、主体的に国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を探求しようとすることができる。 (ホームルーム活動(2)オ) 節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。 (ホームルーム活動(3)エ) 適性やキャリア形成などを踏まえた教科・科目を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えることができる。	(ホームルーム活動(1)ウ) 生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合って決めることができた。 (ホームルーム活動(2)イ) 男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画することができた。 (ホームルーム活動(2)ウ) 我が国と他国の文化や生活習慣などについて理解し、よりよい交流の在り方を考えるなど、共に尊重し合い、主体的に国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を探求しようとすることができた。 (ホームルーム活動(2)オ) 節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができた。 (ホームルーム活動(3)エ) 適性やキャリア形成などを踏まえた教科・科目を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えることができた。 【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述	単元1「国際理解」 単元2「規律ある習慣の確立」 単元3「進路選択と将来設計」	・自己理解と他者理解 ・3学期の目標設定 ・係決め ・キャリア教育 ・他国の文化や生活習慣 ・食育 ・安全教育 ・1日生活探究に向けて ・3学期の振り返り
		(生徒会活動(1)) 主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができる。 (生徒会活動(2)) 生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすることができる。	(生徒会活動(1)) 主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践することができた。 (生徒会活動(2)) 生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすることができた。 【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価やワークシート等の記述内容に基づいて評価を行う。	単元1「学校生活の充実と向上」 単元2「学校行事の充実と向上」	・生徒会役員選挙 ・生徒会役員任命式 ・3年生を送る会
総時数	35				

令和7年度 高等部3年Ⅱ課程（産業コース） 自立活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	
1/35		高等部3年Ⅱ課程（産業コース）			
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		・ 個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知能、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	①生活リズムや生活習慣を身につけることができる。（健（1）） ②病気の状態の理解と生活習慣について理解できる。（健（2）） ③身体各部の状態の理解と養護について理解することができる。（健（3）） ④障害の特性の理解と生活環境の調整を図ることができる。（健（4）） ⑤健康状態の維持・改善について理解することができる。（健（5））	・生活リズムや生活習慣の習得に取り組むことができた。 ・病気の状態の理解や生活習慣について理解できた。 ・身体各部の状態の理解と養護について理解できた。 ・障害特性の理解と生活環境の調整について理解できた。 ・健康状態の維持・改善について理解できた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとで評価する。	※自立活動指導目標・指導内容設定シートをもとに個々の年間目標を定め、指導内容や活動内容を設定する。	
		①情緒の安定を図ることができる。（心（1）） ②状況の理解と変化への対応ができる。（心（2）） ③障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲について理解することができる。（心（3））	・情緒の安定を図ることができた。 ・状況の理解と変化への対応ができた。 ・障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服について理解できた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとで評価する。		
2 学期	14	①他者とのかかわりの基礎について理解できる。（人（1）） ②他者の意図や感情について理解できる。（人（2）） ③自己の理解と行動の調整について理解できる。（人（3）） ④集団への参加について理解できる。（人（4））	・他者とのかかわりの基礎について理解できた。 ・他者の意図や感情について理解できた。 ・自己の理解と行動の調整について理解できた。 ・集団への参加について理解できた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとで評価する。		
		①保有する感覚の活用について理解できる。（環（1）） ②感覚や認知の特性について理解できる。（環（2）） ③感覚の補助及び代行手段の活用について理解できる。（環（3）） ④感覚を総合的に活用した周囲の状況に応じた行動について理解できる。（環（4）） ⑤認知や行動の手掛かりとなる概念の形成について理解できる。（環（5））	・保有する感覚の活用について理解できた。 ・感覚や認知の特性について理解できた。 ・感覚の補助及び代行手段の活用について理解できた。 ・感覚を総合的に活用した周囲の状況に応じた行動について理解できた。 ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成について理解できた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとで評価する。		
3 学期	9	①姿勢と運動・動作の基本的技能について理解できる。（身（1）） ②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用について理解できる。（身（2）） ③日常生活に必要な基本動作について理解できる。（身（3）） ④身体の移動能力について理解できる。（身（4）） ⑤作業に必要な動作と円滑な遂行について理解できる。（身（5））	・姿勢と運動・動作の基本的技能について理解できた。 ・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用について理解できた。 ・日常生活に必要な基本動作について理解できた。 ・身体の移動能力について理解できた。 ・作業に必要な動作と円滑な遂行について理解できた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとで評価する。		
		①コミュニケーションの基礎的能力について理解できる。（コ（1）） ②言語の受容と表出について理解できる。（コ（2）） ③言語の形成と活用について理解できる。（コ（3）） ④コミュニケーション手段の選択と活用について理解できる。（コ（4）） ⑤状況に応じたコミュニケーションについて理解できる。（コ（5））	・コミュニケーションの基礎的能力について理解できた。 ・言語の受容と表出について理解できた。 ・言語の形成と活用について理解できた。 ・コミュニケーション手段の選択と活用について理解できた。 ・状況に応じたコミュニケーションについて理解できた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとで評価する。		
総時数	35				